

社会福祉法人栄和会 広報紙

第49号

ひだまり



新年ご挨拶

社会福祉法人 栄和会
特別養護老人ホーム
ひらおか梅花実施設長

三井 弘巳

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、本年が素晴らしい1年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

2019年12月、最初に中国で

新型コロナウイルスが確認され、世界的な感染拡大が始まつてから約2年が経過しました。また、昨年は

2011年の東日本大震災から10年、2001年のアメリカ同時多発テロ

から20年と、節目の年となり、感染拡大防止のための閉塞感と相まって、復興や再生など、未来志向で前向きな言葉がことさらに心に強く響く1年でした。賛否両論がある中で開催されたオリンピック・パラリンピックは、やはり私たちに勇気や感動をもたらしてくれたビッグイベントだったと感じています。

マスクの着用で人の表情がわかりにくくなり、ソーシャルディスタンスや対面の自粛など、人とのつながりが希薄になりつつある今だからこそ、前向きで連帯感を感じられるような工夫や取り組みが求められているのではないでしょうか。当法人の日々の取り組みの中で

も、面会や会議、地域の皆様との集いにおいてパソコン等によるオンライン化が進み、その利便性を実感しました。ホームページ上でも、写真や動画を活用し、わかりやすく情報発信が出来るようになっています。直接的な対面やスキンシップに勝るものはありませんが、今回を機に、離れた場所にいても安全に交流を図ることができ、新たな方法が定着しました。

元の生活に戻ることを願いつつ、これからは柔軟に変化を受入れ、新しい形で心が通じ合う方法を様々模索していく必要があります。我慢が続く毎日ですが、ストレス対策やレクリエーションなどで楽しみを見つけることも良いかもしれません。どんな逆境のなかでも、楽しみや喜びをつくりながら、強くたくましく、現代社会の礎を築いた諸先輩の皆様を、今こそ見習つ時だと考えております。本年も、皆様の健やかで安全な暮らしを支援するため、感染対策を含め社会情勢に目を向けながら、前向きに取り組みを進めてまいります。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

1

新年ご挨拶

2-3

各通所事業所のイベントについて
・やすらぎ・厚別栄和荘・あつべつ
・ひらおか梅花実・あつべつ南5丁目
・乙部町

4

栄和会Wayについて
編集後記

社会福祉法人 栄和会 基本理念

私たち栄和会職員は
利用者、家族、地域社会との和を
大切にすることを信条とし、

- 1 その人らしい尊厳ある暮らしの実現を目指します
- 2 自立した生活ができるよう支援します
- 3 専門的な技術と知識を持ち、質の高いサービスを提供します
- 4 安心、安全、快適な施設・設備の充実に努めます

社会福祉法人 栄和会



やすらぎ デイサービスセンター

『夏祭り行事を行いました』



当センターでは、いろいろな年中行事などが行えない中、「なんとか少しでもご利用者に季節を感じていただけるもの提供したい!」とご利用者に季節を感じていただけるもの提供したい!と職員一丸で考え、8月19日から21日の3日間、レクリエーションの時間を使って、「夏祭り」を行いました。

当日は、法人内他事業所の職員の協力も得て、射的、くじ引き、ヨーヨー釣り、オモチャの金魚すくいなどの「出店」の他、職員が綿あめを手作りして皆様に振る舞い、お楽しみいただきました。ご利用者によるハーモニカ演奏を披露していただいた日もありました。

各日、小一時間程度の小さな小さな夏祭りでしたが、射的でキラリと目つきが変わった方、金魚を全部すくつてしまふほどの名手、綿あめ片手に満面の笑みなど、普段見せない一面を見せてくださつた方が沢山いました。また、ご利用者からは「お祭りは楽しいね」「綿あめおいしいね」「おうちで金魚かざろう」など、たくさんの喜びの言葉と、笑顔をいただき、とつとも楽しい時間を過ごせました。

『手作り石鹼体験を行いました』



最近では、『楽しく手を洗おう』というコンセプトのもと、石鹼作りを行いました。コロナ禍が続き、活動にも制限が多くなる中、感染防止対策を楽しんで出来ないかと考え、手洗いを楽しくしてもらうきっかけになればと、グリセリンソープに挑戦してみました。形や色、中に入れる小花やドライフルーツをご自身で選んでいただきましたので、世界にたつた一つだけの「私だけの石鹼」となりました。泡立ちも良く、笑顔でご自分の作成された石鹼で手洗いをしてくださっています。



厚別栄和荘 デイサービスセンター

当センターで行なっている、認知症対応型通所介護は認知症の進行予防の取り組みとして、手作業を通して脳の活性化を図り残存能力の維持継続を目指しています。

最近では、『楽しく手を洗おう』というコンセプトのもと、石鹼作りを行いました。

コロナ禍が続き、活動にも制限が多くなる中、感染防止対策を楽しんで出来ないかと考え、手洗いを楽しくしてもらうきっかけになればと、グリセリンソープに挑戦してみました。

形や色、中に入れる小花やドライフルーツをご自身で選んでいただきましたので、世界にたつた一つだけの「私だけの石鹼」となりました。泡立ちも良く、笑顔でご自分の作成された石鹼で手洗いをしてくださっています。

多様な活動を通して、ご利用者に楽しい気持ち、嬉しい気持ちを沢山感じていただき、今後も心の健康を大切に支援していきたいと思います。

介護老人保健施設 あつべつ 通所リハビリテーション



当事業所では、「個別リハビリ」に加え、毎日日替わりで行なっている40種類以上の「プログラム」がご利用者に大変ご好評をいただいています。



当事業所では、「個別リハビリ」に加え、毎日日替わりで行なっている40種類以上の「プログラム」がご利用者に大変ご好評をいただいています。

音楽療法は「奏(かな)で隊」として音楽療法士が企画し、ご利用者がスタッフと共に「歌い」「笑い」「考え」「演奏する」ことでリラックス効果や認知症予防、そして、お口や体の機能向上につなげます。「懐かし料理会」や「お菓子づくり」等の活動では、調理をし、皆で食べて出来栄えを認め合うことで認知症予防や生活の自立、そして自信につなげます。以上のように

多様な活動を通して、ご利用者に楽しい気持ち、嬉しい気持ちを沢山感じていただき、今後も心の健康を大切に支援していきたいと思います。

プログラムを通じて生活に必要な機能への働きかけや、ご利用者の生活につながる関わり・支援・活動を大事に続けていきたいと思っています。

各通所事業所のイベントについて

ひらおか梅花実 デイサービスセンター



9月に開催した敬老会についてご紹介します。新型コロナウイルスの緊急事態宣言下であり、実施する方法を職員で検討を重ねました。今回は紙芝居の読み聞かせと節目を迎える形でのスライドショーを実施しました。

紙芝居では地域の図書館より貸し出しを受けた金色夜叉等、数作品を選びました。職員が心を込め、読み聞かせを行い、ご利用者より温かな拍手をいただきました。

スライドショーではご利用者が昔を懐かしみ写真の思い出を語ると、他のご利用者も興味深く写真をご覧になり和やかな梅花実らしい雰囲気となりました。

当デイサービスセンターでは5年前より学習療法を取り入れています。スラスラできる計算や音読、数唱を行なうことで脳の前頭前野を活性化させ、脳機能を改善して認知症の予防や維持・改善を目的としています。少人数で実施していますが、ご利用者の積極的な取り組みや、ご自身から時代背景を振り返りながら、印象深い話を力強く語つてくださる事も多くあります。ご利用者の脳機能の改善と併せて、職員もその方の人生を知る良い機会となつておられます。今後も皆様の笑顔溢れ、生き生きとした生活を職員一丸とまいります。



デイサービスセンター あつべつ南5丁目



当センターは11月7日で開設10年を迎えるました。この間支えていた全ての皆様に感謝申上げます。

開設時には想像もできなかつた新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ご利用者の皆様とともに不安な日々を過ごし、利用を控えた方も多くいらっしゃいました。

現在、ワクチン接種を機会に利用再開された方も多くいらっしゃいますが新型コロナウイルスは、簡単に私たちを解放してくれません。ウイルスに負けないよう代謝を高め、抵抗力を高めるお手伝いが出来ればとも考えています。寒い日は足湯で足を温めることも有効ですので、11年目を迎えた足湯も活躍しています。

そして、私たちは開設当初からディ専属の作業療法士（以下OT）を配置し、生活リハビリに力を入れ、現在もOTによるリハビリに全力投球しています。コロナ禍ではありますが、運動会に、当センターとして、これから機能が低下しないようメニューを考えています。

開設10周年を機会に、当センターとして、これから10年も、介護予防を楽しく長く続けられるよう、取り組んで参ります



乙部町 デイサービスセンター



その他にも、年間をとおして行事を企画していますが、今年は感染症対策のため、内容を一部変更し、外出や調理等の行事も自粛し、実施することが出来ていない状況です。その代わりに「お楽しみ会」と言う名でいつもとは違った行事を企画し、芸達者な職員が皆様を大いに笑わせて（笑われて？）盛り上げてくれています。

当センターでは、季節ごとの行事を毎月行つております。出来るだけご利用者の皆様に、楽しんでいただけるよう、様々なタイプの催しを企画しています。今回は「納涼祭」を紹介します。例年ですと、昼食は、流しそうめんを行います。本来であれば全長10メートルを超える職員手作りのスロープを食堂にセットし、大変楽しい食事タイムになりますが、今年は感染防止の為に中止となつてしましました。その分、スタッフが趣向を凝らしたゲームなどで盛り上がりました。写真は、利用者の皆様と一緒に千代紙で作成した金魚すくいの様子です。

当センターでは、季節ごとの行事を毎月行つております。出来るだけ、利用者の皆様に、楽しんでいただけるよう、様々なタイプの催しを企画しています。今回は、「納涼祭」を紹介します。

栄和会Wayについて

社会福祉法人栄和会ではこの度、基本理念・倫理綱領を基に働く全職員の道標として栄和会Wayを作成しました。

「栄和会(エイワカイ)Way(ウェイ)」は、栄和会がこの先も発展を続け、幸せを創り出すために、全職員が実践の哲学や社会的使命を定めたものです。

7つの「道標(みちしるべ)」を実践すべく全職員へ小冊子を配布し日々のサービスを実践していきます。



人を大切にする

栄和会は

発展と安定を繰り返す

栄和会は

これからの福祉を考える

栄和会は

地域に溶け込む

栄和会は

専門的な技術と知識を發揮する

栄和会は

明るい笑顔を心がける

栄和会は

公平・公正なサービスを提供する

栄和会は

「福」は「幸せ」「祉」も「幸せ」
幸せは人のためにある。人を大切にすることこそが福祉の到達点である。

私たちはどこへ向かうのか今後の動向を予測し、あらゆる面で柔軟な思考を持って社会に適応していく。職場環境を整えることにより適応から順応へ変化を遂げていく。

今までも、そして、これからも私たちは、私たち自身の仕事の本質を考える。多様な社会に貢献し続けられるよう積極的に次世代の人材を育成し、幸せな未来を創造する。

私たちは地域と共に発展する。法人・施設・事業所は地域の一部であることを自覚する。そこで働く職員も地域の未来を考える。

私たちはプロフェッショナル。専門性は「人」のために身についたもの。その「人」を支援しその「人たち」の幸せに貢献できるよう技術と知識を研鑽し日々、惜しみなく發揮する。

自分から挨拶すると挨拶が返ってくる。自分自身が笑顔でいるとまわりの方も笑顔でいる。相手を尊重する柔らかな雰囲気が温かな生活を実現する。

自分自身の考えのみに偏ることなく、分け隔てなく行動できているか。ご利用者・ご家族の立場に徹底的に立ちより良い生活のためにできることを常に意識する。



新年あけましておめでとうございます。ひだまり49号はいかがでしたでしょうか。

新型コロナウイルスが猛威を振るうようになり暗いニュースばかりでしたが、皆様のご理解とご協力を賜りながら、栄和会では様々な活動を行ってまいりました。

49号ではコロナ禍での通所系（通いのサービス）についてご案内してまいりました。

今後も皆様の安心安全に最大限留意し取り組んで参りますので、引き続きご理解とご協力の程、宜しくお願ひいたします。本年が皆様にとりまして幸多き年でありますようお祈り申し上げます。

栄和会のご案内

やすらぎ (定員50名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●ケアハウス／特定施設入居者生活介護
●デイサービスセンター

☎ 011-896-5014

あつべつ (定員100名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●介護老人保健施設／短期入所療養介護
●通所リハビリテーション ●訪問リハビリテーション

☎ 011-896-5020

厚別栄和荘 (定員104名)

〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750-6
●特別養護老人ホーム／短期入所生活介護
●デイサービスセンター
☎ 011-896-5014
●居宅介護支援事業所
☎ 011-896-2538



社会福祉法人
栄和会

〒004-0022
札幌市厚別区厚別南5丁目1番10号

☎ 011-896-5010



あつべつ南5丁目 (定員80名)

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南5丁目1-10
●特別養護老人ホーム／空床型短期入所生活介護

☎ 011-375-0526

●デイサービスセンター

☎ 011-375-0375

●居宅介護支援事業所

☎ 011-375-6825

おとべ荘 (定員50名)

〒043-0114 北海道爾志郡乙部町字元和200番地の1

●特別養護老人ホーム／短期入所生活介護

☎ 0139-62-3827

●乙部町デイサービスセンター

☎ 0139-62-4032

●訪問介護ステーションおとべ

●訪問看護ステーションおとべ

☎ 0139-62-4033

●居宅介護支援事業所おとべ

☎ 0139-62-4008

■札幌市委託事業 厚別区第1地域包括支援センター・厚別区第2地域包括支援センター・介護予防センター厚別西東